

<新商品情報>

報道関係各位

100年コート

100nencoat

短期化する春から初夏に向け、コートに代わる新商品

『100年コート トレンチジレモデル』3月発売

『100年コート』初のジレタイプ

三陽商会が展開するコート専門ブランド「SANYOCOAT(サンヨーコート)」は、素材と縫製にこだわった日本製の『100年コート』から、短期化する春から初夏に向けた『100年コート』初のジレタイプ『100年コート トレンチジレモデル』を、「サンヨーコート」を展開する6店舗、及び三陽商会公式オンラインストア「SANYO ONLINE STORE(サンヨー オンラインストア)」等にて3月上旬に販売を開始しました。

『100年コート トレンチジレモデル』は、本格的なトレンチコートの特徴を残しつつカジュアルな着こなしもできるバランスを追求。中空糸を織り交ぜた独自開発の生地を採用し、既存の『100年コート』の生地と比較して約30%軽量化、さらにエポレット（肩章）をはじめとする仕様を省くことで軽さと着やすさを両立しました。春から初夏の時期にコートの代わりに気軽に羽織れるよう軽やかに仕上げたロングジレです。生産は、縫製から仕上げのプレスまで各工程で最適な手仕事を施して仕上げるコート専門56年になる自社工場「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」(青森県七戸町)にておこなっています。

■開発の背景

短期決戦の春に向けたコート戦略

三陽商会は、気候変動と実需型消費者ニーズに対応するため、2024年から新たな商品開発・販売計画を推進しています。春物の需要期間を3カ月から2カ月（3-4月）に短縮した新カレンダーを採用し、2025年春に向けては短期決戦型のコートアイテム戦略を展開します。スプリングコートの全社生産数は抑制する一方、ジレ、ショートコート、ブルゾンの品揃えを強化。軽量素材の採用や仕様見直しによる軽量化も進めます。これにより、春から初夏に対応した着用しやすい商品バリエーションを拡充し、実需に基づく消費者ニーズにきめ細かく応える方針です。

『100年コート』ショート丈の好評受け、春向け新モデルを開発

設立80年を越える三陽商会の祖業ブランド「サンヨーコート」は、生活者のニーズに対応したコートを提案しつづけており、2013年には、当社のものづくりへのこだわりを体現した『100年コート』を発売。現在、『100年コート』のシリーズでは、普遍的なスタイルのトレンチとバルマカーンコートを中心に、メンズ・ウィメンズ計16型を販売しています。2024年秋冬シーズンには、温暖化傾向を見据え、『100年コート』初のショート丈モデルを投入。当初の計画を上回る販売実績を上げることができました。これを受け「サンヨーコート」は2025年春に向けた『100年コート』の新モデルを開発することとしました。



春から初夏に向けた新商品
『100年コート トレンチジレモデル』

■『100年コート トレンチジレモデル』商品特徴

『100年コート』は“世代を超えて永く愛されるコート”を目指し、ものづくりへのこだわりを体現した2013年より展開しているコートです。今回発売する『100年コート トレンチジレモデル』は、短期化する春から初夏の気候に向けた『100年コート』初のジレタイプの新モデルです。本格的なトレンチコートの特徴を残しつつカジュアルな着こなしもできるバランスを追求しました。長めの着丈と高密度織りの生地によりオーセンティックさを維持しながら、中空糸を織り交ぜた独自開発の生地を採用し既存の『100年コート』の生地と比較して約30%軽量化。さらにエポレット（肩章）をはじめとする仕様を省くことで軽さと着やすさを両立しました。コートの代わりに気軽に羽織れるよう軽やかに仕上げており、主に女性の着用を想定したデザインを採用しています。生産は、縫製から仕上げのプレス(アイロンがけ)まで各工程で最適な手仕事を施して仕上げるコート専門56年になる自社工場「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」にておこなっています。

『100年コート トレンチジレモデル』製品のポイント

- ① **デザイン**： 本格派トレンチコートをジレにアレンジ
- ② **素材**： 中空糸で30%軽量化と上質感を両立
- ③ **生産**： 縫製から仕上げまで各工程で最適な手仕事を施して仕上げるコート専門56年になる「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」にて生産

特徴

＜① デザイン＞ ～ 本格派トレンチコートをジレにアレンジ ～

デザインはトレンチコートの袖を無くしたジレタイプ。本格的な雰囲気を保ちながらカジュアルに羽織れるバランスを追求しました。長めの着丈と自然なAラインシルエットが生み出す優雅なドレープ感により羽織った際的美しさを引き立てます。エポレット（肩章）、チンフラップ（※1）、背面のアンブレラヨークを省くことで、軽量化と着やすさを実現しました。

（※1）襟元から風が入らないように首元をとめるベルト



本格トレンチの雰囲気を保ちながら
カジュアルに羽織れるバランスを追求

＜② 素材＞ ～ 中空糸で30%軽量化と上質感を両立 ～

独自開発した高性能アブリックを採用（※2）。よこ糸には中を空洞にしたポリエステルの中空糸「エアロカプセル」を使用し、縦糸にはしなやかな超長綿を用いそれらを織り交ぜることで、従来の『100年コート』の生地と比べて約30%の軽量化を実現。さらに、高密度織りの技術を駆使することで、軽さと高級感を両立。本格的なトレンチコートのコットンギャバジン生地に匹敵する上質感を保ちながら、軽さを実現した画期的な素材です。加工により耐久はっ水性をもたせています。

（※2）今回発売する『100年コート トレンチジレモデル』の生地は、軽量化を目的に開発し2023年春より販売中の『100年コート 粋SUI』の生地と同じ独自開発生地です

＜③ 生産＞ ～ コート専門56年の国内自社工場生産 ～

生産は縫製から仕上げのプレス(アイロンがけ)まで各工程で最適な手仕事を施して仕上げるコート専門56年になる自社工場「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」(青森県七戸町)にておこなっています。肩から裾にかけて歪みやよどみがなく、整然と生地が落ちる様なシルエットを理想に掲げ縫製。襟周り、ボタン付けなどは、クオリティを高めるために職人が手作業で行い、細部までこだわり仕上げています。



鍛錬された力加減で縫製

■商品概要



『100年コート トレンチジレモデル』

ブランド：サンヨーコート
商品名：100年コート トレンチジレモデル
型数：1型（ウイメンズ）
税込価格：9万9000円
カラー：ベージュの1色
表地：綿70%、ポリエステル30%（耐久はっ水性あり）
サイズ：36、38号の2サイズ
着丈：36号 112cm、38号 115cm
発売日：2025年3月5日(水)より販売中

耐久はっ水性

■販路

『100年コート トレンチジレモデル』は、「サンヨーコート」の展開売場6店舗、及び三陽商会公式オンラインストア「SANYO ONLINE STORE」内の「サンヨーコート」ブランド公式サイト&ストアをはじめ、一部の百貨店・商業施設においては期間限定店舗にて販売いたします。

① 店舗「サンヨーコート」売場

- | | |
|---------------------------------------|------------|
| ・SANYO ESSENTIALS 日本橋高島屋S.C. 店（新館3階） | 東京都中央区 |
| ・SANYO ESSENTIALS 大丸東京店（6階） | 東京都千代田区 |
| ・SANYO ESSENTIALS ジェイアール名古屋タカシマヤ店（6階） | 愛知県名古屋市中村区 |
| ・SANYO ESSENTIALS 阪神梅田本店（4階） | 大阪府大阪市北区 |
| ・三陽山長 東京ミッドタウン日比谷店（2階） | 東京都千代田区 |
| ・三陽山長 粋 東京ミッドタウン八重洲店（1階） | 東京都中央区 |

ほかポップアップショップ展開店舗

掲載ページ URL <https://store.sanyo-shokai.co.jp/blogs/pages/sc-shoplist>

② EC

「SANYOCOAT」ブランド公式サイト&ストア <https://store.sanyo-shokai.co.jp/pages/sanyocoat>

■生産工場「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」について

公式サイト <https://www.sanyo-factories.jp/sewing.html>

当社子会社。2023年に設立80周年を迎えた当社の祖業アイテムでもあるコートの生産を手がける、コート専業56年（1969年創立）の工場で、当社のもづくりの根幹ともいえる国内工場です。工程数の多いコートを正確に縫製し仕上げる技術は、当社製品の生産に加えて、近年ではセレクトショップなど他の複数のアパレルメーカーからも受注を受け、中でも綿のギャバジン素材によるトレンチコートの生産技術については高い評価をいただいております。

技術のこだわり・強み：「サンヨーソーイング 青森ファクトリー」では、肩から裾にかけて歪みやよどみがなく、整然と生地が落ちる様なシルエットを理想としており、そのシルエットを表現するために「パターン(設計図)」「縫製」「仕上げ(アイロンがけ)」という3つの工程を重視しています。コート専業56年間で蓄積された工場の技術を全て掛け合わせ、オーラを放つ1着に仕立てます。

直近の動向：2021年2月、複数の設備投入をおこない新たにR&D機能を持たせることで、近年の需要に即した生産体制を確立。ダウンコート生産の内製化や新アイテムの開発など、トレンチコートに留まらない製品の生産に取り組んでいます。



サンヨーソーイング 青森ファクトリー

■『100年コート』について

『100年コート』は、コート専門ブランドの「サンヨーコート」が“世代を超えて永く愛されるコート”を目指し、ものづくりへのこだわりを体現した2013年より展開している日本製のコートです。トレンチとバルマカーンという普遍的なスタイルにフォーカスし、表地は高品質なギザコットンで織られたギャバジン素材に耐久はっ水機能をもたせています。生地調達から縫製までの全てを国内で行い、56年間コートを作り続けている日本でも類を見ないコート専門工場である当社自社工場「サンヨーソーイング 青森ファクトリー(青森県七戸町)」で丁寧に縫製しています。2022年にはさらなる高みを目指してつくり上げた『100年コート』の最高峰モデル『100年コート 極KIWAMI』を発売。2023年春には軽さを実現した本格トレンチコート『100年コート 粋SUI』を発売しました。

～『100年コート』おもな展開商品～



『100年コート』スタンダードモデル



『100年コート 粋SUI』



『100年コート 極KIWAMI』

～『100年コート』のメンテナンスやアフターケアをおこなう「100年オーナープラン」～

また、『100年コート』をご購入したお客さまが安心して愛用し続けることができるよう、メンテナンスやアフターケアを直接おこなう「100年オーナープラン」を運営しています。そのサービスの一環として、『100年コート』の購入から3年ごとのシーズンオフ期間にコートをお預かりし、10項目において定期診断を行い、無償でボタンの緩み直し補修を行うほか、ご希望に応じて袖口や裾周りの擦り切れ補修などを有償にて承る「100年オーナープラン・ケアプログラム」を提供しており、多くのお客さまにご登録いただいております。

このプログラムを通じて、着用する中でゆっくりとその姿を変えていく『100年コート』の経年変化や衣服との長い付き合いを楽しんでいただきたいと思います。運営しています。



定期診断「100年オーナープラン・ケアプログラム」
に送られてきた『100年コート』
(東京都新宿区の三陽商会四ツ谷本社)

長く愛用していただけるよう「100年オーナープラン」を運営

『100コート』公式サイト <https://store.sanyo-shokai.co.jp/blogs/pages/sanyocoat-100nencoat>

「100年オーナープラン」について <https://store.sanyo-shokai.co.jp/blogs/pages/sc-100nen-owner>

<この件に関する消費者からのお問い合わせ先>

株式会社三陽商会 カスタマーサポート：0120-340-460 受付時間：11：00-17：00（平日のみ）